

穴梅懺 アビニュー版

コラッ！

お前たち！

Presented by, flanzia

シスターさんに
迷惑かけんなよ！

すまないね
面倒見てもらって

いえいえ
大丈夫ですよ

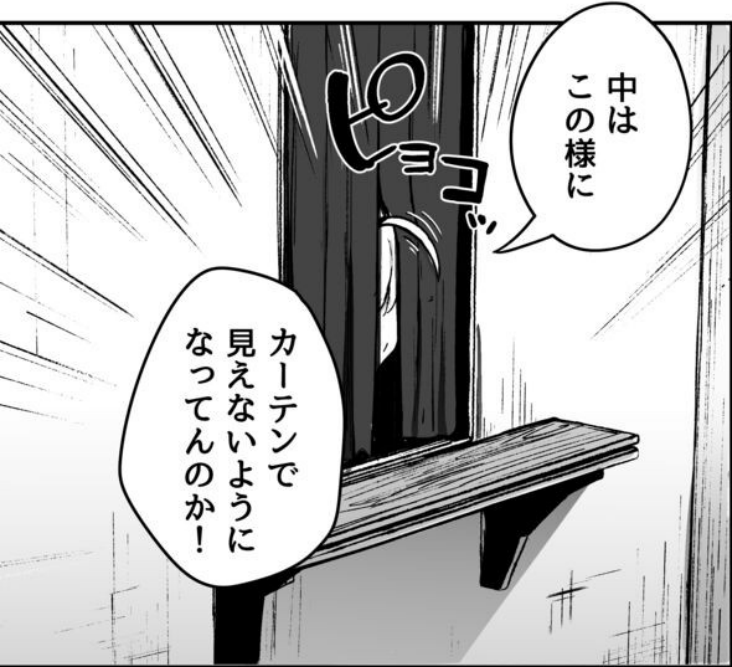
こちらこそ
こんな立派なものを
建てていただいて…

作ったは
いいけど…
これは何だね？





これは
『懺悔室』
と言います。



中は
この様に

カーテンで
見えないように
なってるのか!



皆様が胸中に
抱えている
罪…後悔…

これを
打ち明けられる
場所なのです…



色々考えて
くれるもんだなア

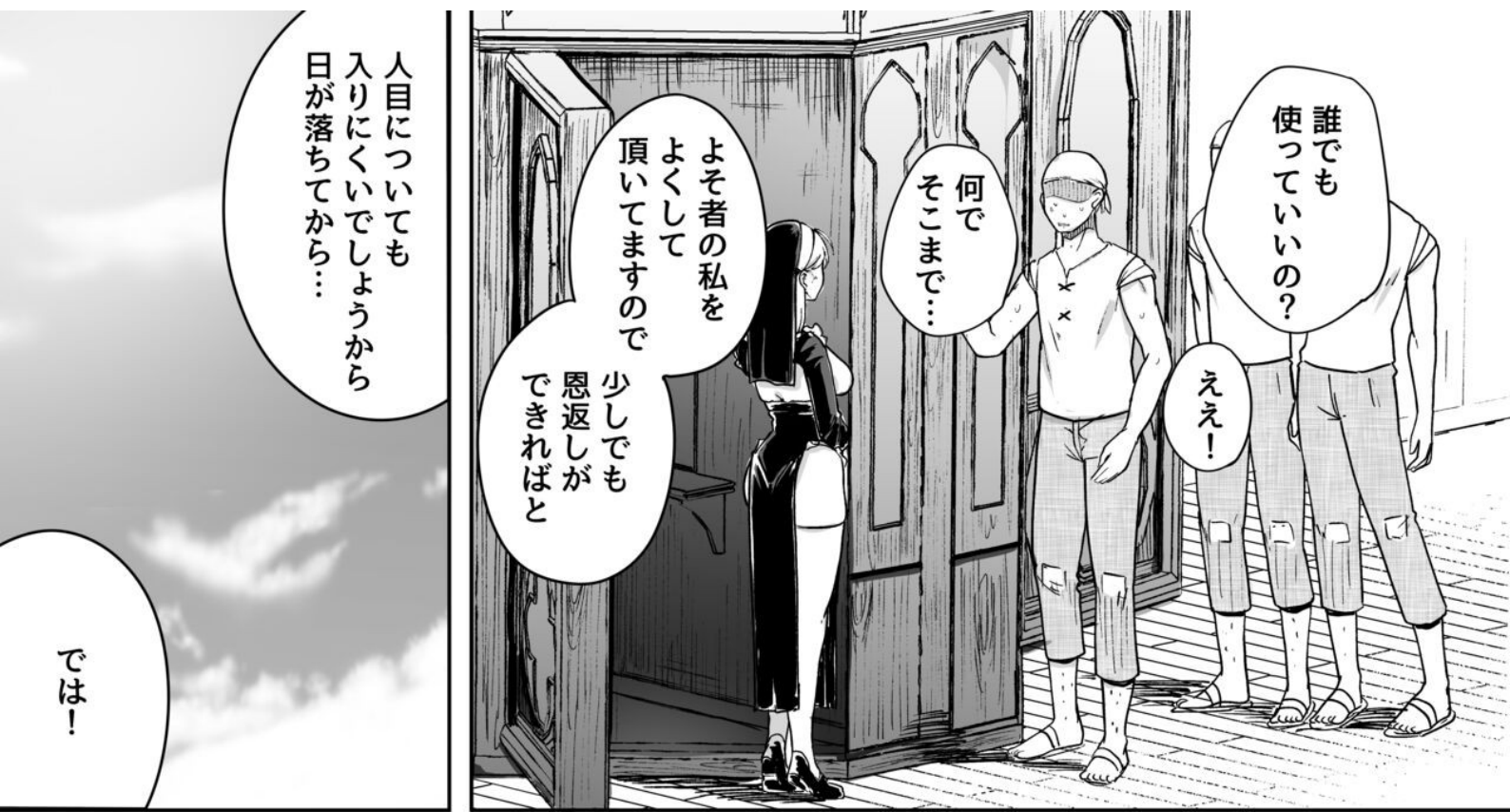
これで何でも
話しやすい
でしょう?



心配
ありませんっ

…でも
顔見られてちゃ
恥ずかしくて…

なんでも
かあ…



誰でも使っていいの？

ええ！

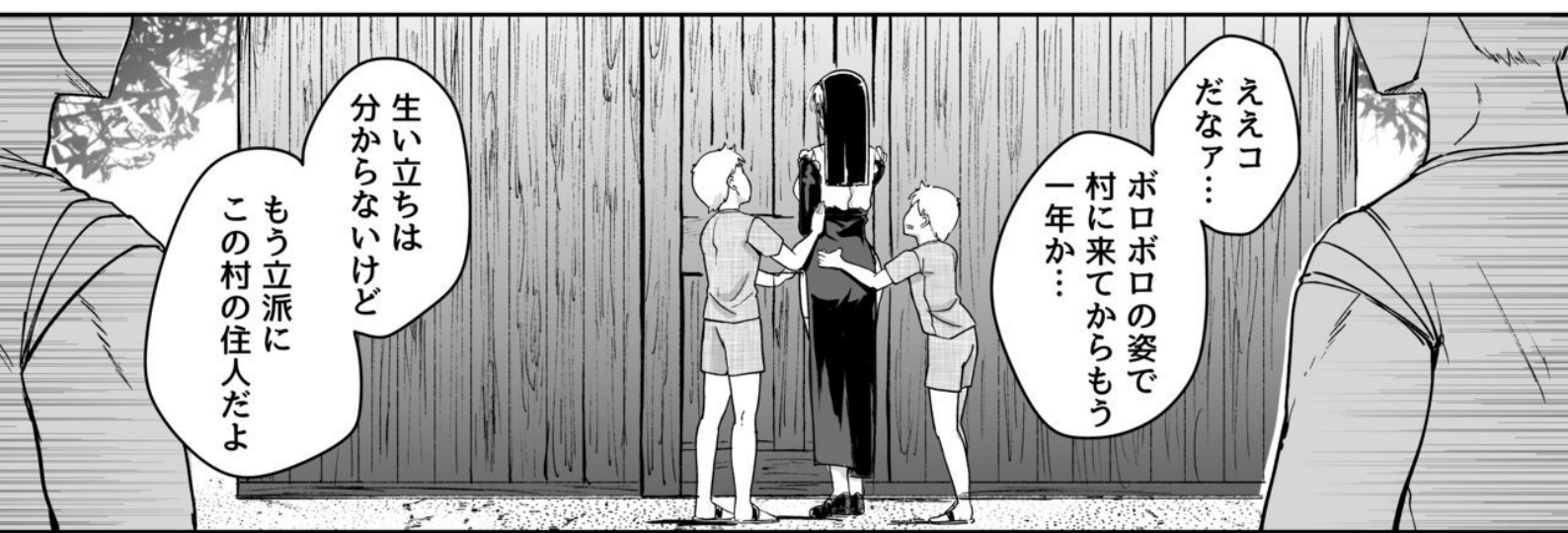
何でそこまで…

よそ者の私をよくして頂いてますので

少しでも恩返しができるばと

人目についても入りにくいでしょうから日が落ちてから…

では！

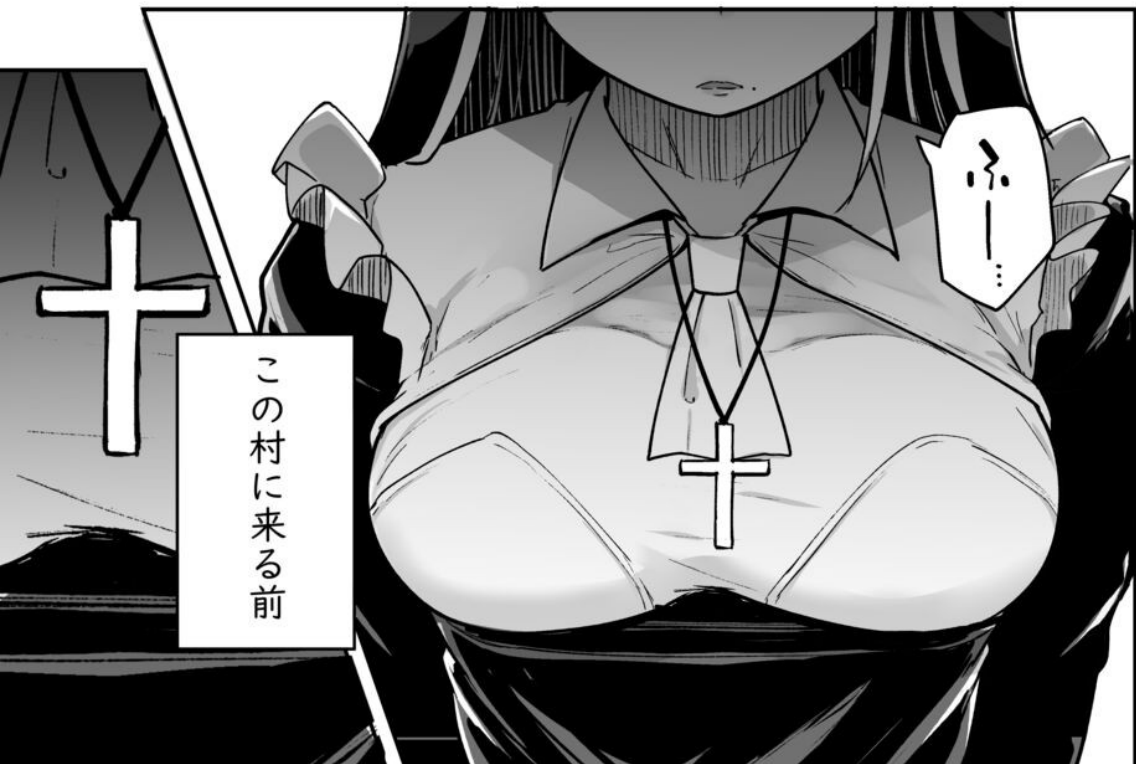


ええコだなア…

ボロボロの姿で村に来てからもう一年か…

生い立ちは分からないけど

もう立派にこの村の住人だよ



この村に来る前





私は
奴隷
だった。



私を飼っていたのは
聖職者だった。

孤児だった私は
この教会に
引き取られ

男を喜ばせる
行為を徹底的に
教え込まれた



私が嫌がる
表情をしたり

快楽に強制的に
体が反応する度

奴らは喜んだ

私が
耐えきれずに
泣くと
決まって奴らは
こう言った。



望むなら
祈りなさい

信じる者は
救われる。

望みは
叶う。

と。



馬車は
事故にあった。

巡礼という名の
乱交パーティーへ
向かう途中

そんなある日
いつものように

オオオ...



村の人々に
助けられた。

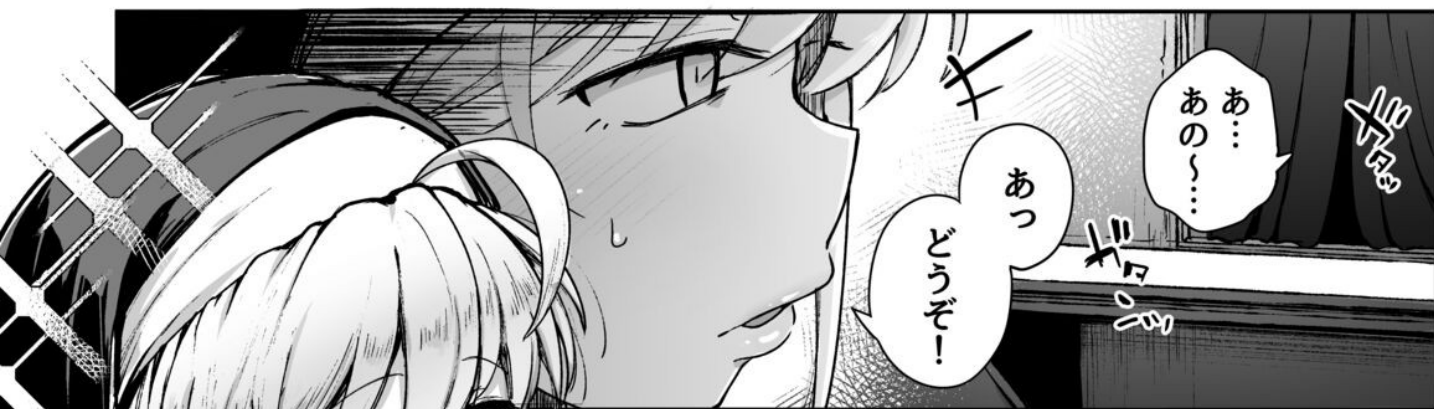


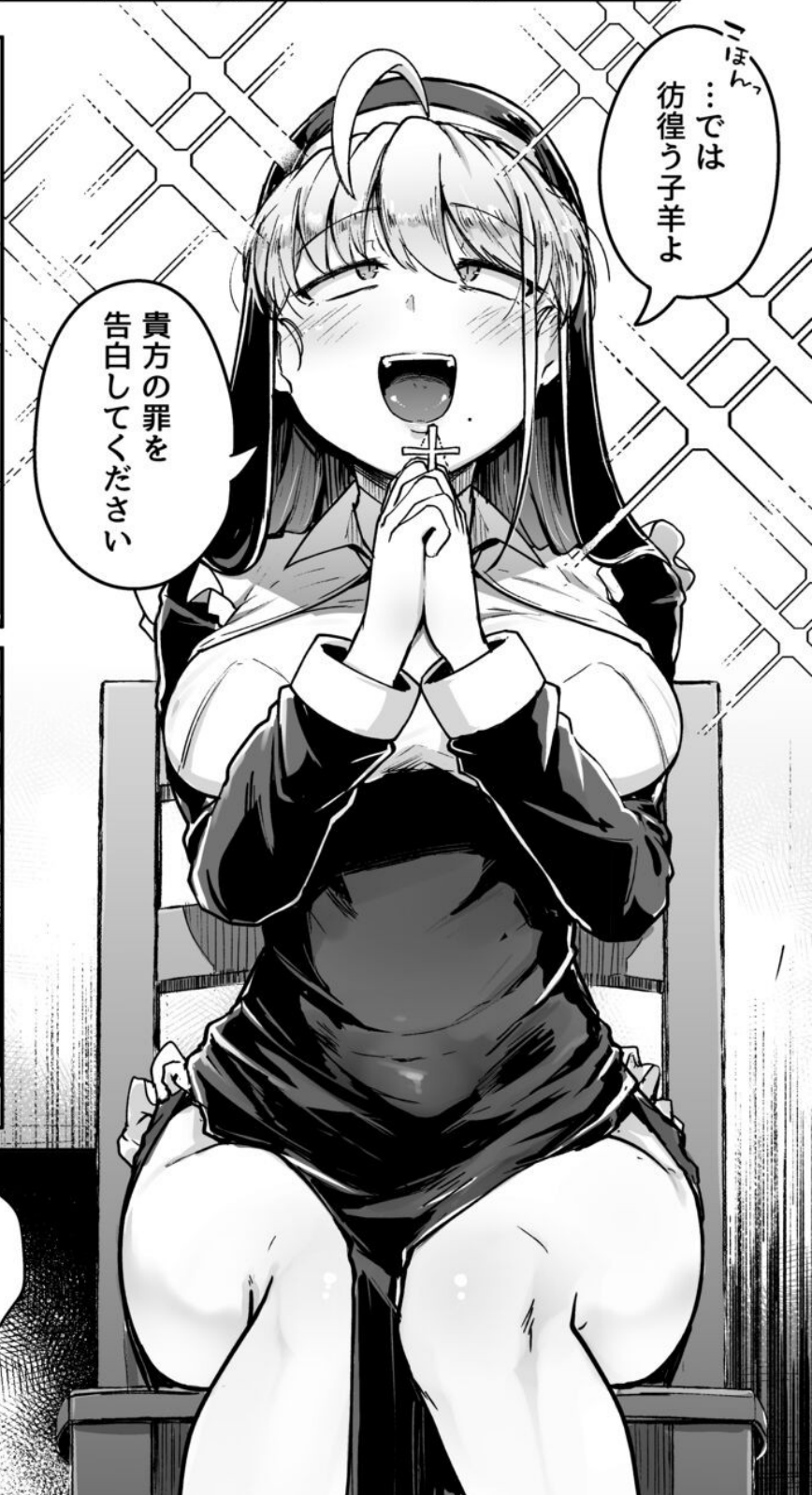
私は騒ぎの中
逃げ出して
この村にたどり着き



私は救われた。

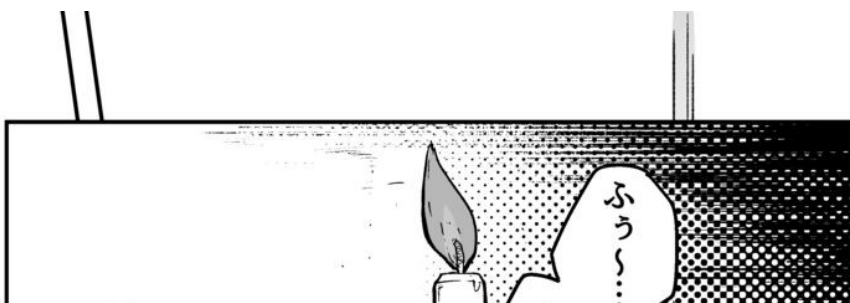
あいつらの
言っていることは
本当だった。











あとがき

お° わんながつだよ° ツ!
ごめんねさい…。ごめんねさい…。
完全版は冬コミに完結させてしつかり発刊します…。

る.る.る.

Flanvia

この物語の宗教は
空想上のものであり
実在の人物
団体・事件とは
一切関係ありません

奥付

懺悔穴

発行日 2022年8月14日
発行者 flanzia
印刷所 ねこのしっぽ
連絡先 hyuihyuiflanvia@yahoo.co.jp